

YMCA サービス・ユース事業通信 第2号

2015年8月11日発行

2015～2016 YMCA サービス・ユース事業主任

河合久美子(京都ウエストクラブ)



事業主題:

今こそ Yサカ アップ!

～YMCA とともに ユースとともに 確かな未来を～

西日本区の皆様、こんにちは。「Youth Activities」8月はユース事業の強調月間です。若者(ユース)に、YMCA やワイズメンズクラブについてもっと知ってもらい、互いに共感や連携のできるプログラムを推進しましょう。7月末から8月にかけて、第26回アジア地域大会が京都にて開催されました。ユースに関連するプログラムが実施されましたので、報告させていただきます。

第26回 アジア地域大会 分科会2「ユース支援」



第26回アジア地域大会が7/31～8/2、京都市左京区のウェスティン都ホテルにて開催され、2日目の午前中、4つの分科会が実施されました。そのうち、分科会2「ユース支援」に、パネリストの一人として参加させていただきましたので、ご報告させていただきます。

開会后、4名のパネリストとモデレーターの自己紹介があり、続いて最初に、国際ユース事業主任(IPE)であるカナダのJoan Wilsonさん(Ottawa International Y Service)から、ユース支援に関連するクラブのあり方について、パワーポイントを用いて報告がなされました。公式には、

ユースクラブを作る 若い人がクラブにメンバーとして所属する という方法があるが、各々の課題として、については、ユースが上限年齢に達した時、受け入れ先があるか。また会費の問題 については、年齢のギャップにより様々な困難が生じる というものでした。また、ユースコンボケーションについては、リーダーシップやコミュニケーションの技術を磨く場であり、新たにオンラインを用いてユースを毎月トレーニングする新たな試み、GYLD (Global Youth Leadership Development)を、2016年1月からスタートさせる予定で、是非やる気のあるユースに声を掛けて欲しいとのことでした。

次にシンガポール、メトロポリタンYMCAのメンバーであるDavid Wong Wei Liさん(Beta Chapterクラブ)からは、最近の若者は人から命令されるのを好まない。ユースが自分たちが受け入れられると感じることが大切である、との報告がなされました。

続いて河合からの西日本区の報告では、全体として会員が高齢化している現状の中、ワイズメンズクラブの活性化と未来のためには、ユースに対する取り組みは真剣に向き合うべき課題と認識していること、そのための取組みとして、ユースコンボケーションの支援に力を注いでいること、今後の課題として、

YMCA リーダーが卒業後も再びYMCA やワイズに関わることのできる仕組みが必要 学生YMCA

への理解や協働 ユースコンボケーションの開催時期の問題(日本の大学の試験期間と重なることがあるため、8月中旬～下旬に開催できないか?) の三点について述べさせていただきました。

また、当分科会でモデレーターを務められた、東日本区の大槻展子さん(東京クラブ)からは、東日本区での特徴的な取り組みとして、「ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム」、「オープンフォーラム Y」があり、それぞれの内容や抱えている課題につき報告がなされました。

最後に、パネリストの一人として参加の岡野泰和アジア地域会長からは、アジア地域のローカルエリアの人々を世界に繋げていくことが自らの役割であり、今回新たにできたモンゴルのウランバートルのクラブからユースコンボケーションに参加してもらうために、経済的支援が行われた旨が述べられました。

質疑応答の時間では、会場から積極的な発言がなされ、アメリカからの参加者からは、米国で今取り組もうとしているのはオンラインでのクラブであり、トレーニングもオンラインで行うとのことでした。それに対して、アフリカからの参加者より、アフリカではPCを所有していないなどの事情で、オンラインでは不可能なこともあり、一つの現場に物理的に人々が集まることが大切だと思っているとの発言がありました。

その他、従来は私たちがユースに何かを提供する形であったが、ユースに大人としてガイダンスを与え、パートナーとして迎えていくことが必要といった意見や、ユースコンボケーションについては、トレーニングであるので、本人の意思を確認する必要があり、クラブでも部でも、本当に能力があり負担も負う人を責任をもって選ぶ必要があるという意見もありました。討論の時間が充分でなく残念でしたが、国際色豊かな会場いっぱい参加者で、いかにユース支援に対する関心が世界的に高いかが伺えるひと時でした。またユース支援に関する国際的な取り組みの状況について聴くことができたことは大変有意義でした。

分科会での報告や議論はもちろん英語で進行がなされた中、西日本区からはあいにく日本語での発表となり、日本 YMCA 同盟の山根一毅さんに通訳をしていただきました。また岡野泰和アジア地域会長や、モデレーターの大槻展子さんにも多大なる配慮をいただき、改めて英語力の必要性を実感した機会となりました。

ユースコンボケーション

2015 ユースコンボケーションは、アジア地域大会に先立ち、7/29 から5日間の日程で開催されました。開催地「あうる京北」でのプログラムを終えた後、ウェスティン都ホテルにおける大会2日目の晩餐会 AP ナイトにユースが合流し、AYC の成果の一つである素晴らしいダンス・パフォーマンスが披露されました。最終日の閉会式では、ユース全員が壇上に整列し、アジア地域ユース代表の沖麻美さんと、新代表を担われる台湾の Candy Linさんが代表してスピーチされる場面もありました。参加のユースは、台湾・中国・フィリピン・モンゴル・ナイジェリア、そして日本から合計48名で、そのうち西日本区からは17名でした。

各部部长様・主査様、各クラブ会長様・Yサ・ユース委員長様へお願い

ユースコンボケーションについては、部単位、クラブ単位で、積極的に今回参加されたユースを例会等に招待し、AYC の成果を聴く機会を設けていただければと思います。是非報告会を開き、彼ら彼女らの熱き気持ちを感じ取って下さい。西日本区においても全体の報告会の開催を予定しています。日程は10月頃、新大阪近辺と考えています。詳細は追ってお知らせしますが、その機会には是非、こちらにも多数のご参加をお願いいたします。

